

原発連事務局FAX通信 第988号 2020年5月31日  
原発問題全道連絡会 事務局発行 Fax:011-815-4545 又は011-3721-2127

6月イレブンアクションにご協力を！

## 6・11 原発ゼロ・昼休み宣伝行動

- ◇日時 6月11日(木)12時15分～同45分
- ◇場所 紀伊国屋書店札幌本店前(北5西5)
- ◇主な行動 リレートーク、原発ゼロ基本法リーフ配布、泊再稼働シール投票など

コロナウイルスの影響で、4月26日のチェルノブイリデーから昼休み宣伝行動を中止していましたが、6月11日のイレブンアクションから再開します。ご協力をお願いします。

## 北電第96回株主総会会場前宣伝行動にご協力を

—今年も、「脱原発をめざす北電株主の会」と共同で実施の予定です—

- ◇日時 6月25日(木)午前9時～10時
- ◇場所 中央区大通西8丁目 札幌ビューホテル大通公園前
- ◇主な行動 泊原発廃炉宣伝、原発ゼロ基本法実現リーフ配布など

今年も、新型コロナウイルスの感染が終息しない中の株主総会で、北電は会場への参加を見合わせ、書面での議決権行使を呼びかけています。今総会の議案は、会社提案が3件(剰余金処分＝普通株式1株5円、総額10億2761万円の配当、B種優先株式1株150万円、総額7億500万円の配当の実施)、取締役12名選任、監査役3名選任。株主(脱原発をめざす株主の会)提案が9件(原子力事業からの撤退、再生可能エネルギー受入れ容量の拡大・送電網の開放、役割の不透明な有償の相談役・顧問の廃止、取締役などの報酬の個別開示など)。北電は昨年度の決算で、泊原発停止中でも電気は安定供給し、新電力への契約切り替えで毎月約1万件も契約件数減少が続くなど、電力量の売り上げ減が続く一方、人件費削減、経営効率改善などで経営費を圧縮、前年度に続き増益を確保、株主配当を継続実施する。

また、2030年度に向けて経営上利益を450億円規模に倍加をめざす「北電グループ共同経営ビジョン2030」を策定し、泊原発の早期再稼働に総力をあげつつ、事業領域の拡大などを打ち出し、儲け口を広げ、増益目標を達成しようとしています。

他方、今年度から、送配電事業部門の法的分離がスタートし、送配電事業部門は北電ネットワーク株が担うが、その株式は北電が100%保有して親会社となり、一体となって電力の安定供給に責任を果たす方針をかかげています。しかし、こんな分社化で、果たして送配電事業の中立性や公平性が担保されるのか、道民監視が欠かせない重要な総会です。

脱原発をめざす北電株主の会は、過去最多の9議案を提出しています。今年も、脱原発をめざす北電株主の会と共同で、株主総会会場前で宣伝行動の予定です。ご協力をお願いします。詳しくは別途、お知らせします。